

『東京都公立大学法人第四期中期計画』を策定しました

東京都公立大学法人では、令和5（2023）年度から令和10（2028）年度までの6年間にわたる第四期中期計画を策定しました。

本計画の達成に向けた取組を着実に実施することにより、東京都立大学、東京都立産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等専門学校における教育研究活動の推進とその成果の社会への還元に取り組み、世界で活躍できる人材の育成や地域社会の発展に貢献してまいります。

※第四期中期計画「全文」は、法人HPに掲載しています。

<https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/middle-plan/>

《問合せ先》

東京都公立大学法人 経営企画室 企画財務課

電話 03-5990-5386

東京都立大学法人 第四期中期計画の概要

第四期中期計画の方向性

計画期間：令和5(2023)年度～令和10(2028)年度

- 加速する **社会の変容を飛躍のチャンスと捉え**、「大都市における人間社会の理想像の追求」という使命を果たし、豊かな人間性、創造性を兼ね備えた、**世界で活躍できる人材を輩出**
- 強靱で**持続可能な社会の実現に貢献**し新しい時代を切り開くため、大都市が抱える課題の解決など、「**都立**」の**高等教育機関ならではの教育研究の推進**や**地域社会の発展に貢献**

4つの重点方針

- 社会との価値共創**：都のシンクタンク的な機能を発揮し、社会とのつながりから生まれる新たな価値を創造していきます。
- 教育**：将来の東京の成長を支える人材の育成や、学び直しの機会の提供など、学生の学びの支援を充実させます。
- 研究**：新たな知を生み出す高度な研究を推進し、研究成果を国内外に広く発信していきます。
- 法人経営**：社会からの要請に対して、柔軟で実効性ある施策を展開できるよう、戦略的な法人経営を展開していきます。

評価指標の設定

第四期中期計画では、計画の達成状況を測る上での主要な判断材料とするため、全ての計画に「**評価指標**」を設定しました。

東京都立大学

輝く未来を切り開く真に力のある人材を育成し、研究により人類の知を深め、絶えず新たな取組に挑戦

社会との価値共創

- 自治体との連携により **都市の課題解決に資する研究を推進**するとともに、**東京を支える人材の育成に寄与**
- **産学公連携イノベーション拠点**を形成し、社会経済の成長と成熟に貢献
- 研究・教育資源を活用し、東京都立大学プレミアム・カレッジ等多様な生涯学習の機会を提供

【主な評価指標】

- ✓ 都の課題解決に向けた調査研究
⇒ 6年間で延べ **100件** 以上
- ✓ スタートアップ企業等への支援
⇒ 年間 **10件** 以上
- ✓ 大学発ベンチャーの創出
⇒ 6年間で **24社**



TMU Innovation Hub
(日野キャンパス6号館)

教育

- **情報及び国際金融、保健医療**分野の高度化を踏まえ、教育体制を充実
- 文理融合型の教育プログラムを導入し、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成
- **国際通用性の高い教育と環境を提供**するとともに、国際的素養を身につけた人材を育成

【主な評価指標】

- ✓ 数理・データサイエンス副専攻
⇒ コース修了者 **毎年40名** 以上
- ✓ 国際金融プログラムの導入
⇒ 新規履修者 **毎年10名** 以上
- ✓ 都立大在籍留学生
⇒ 令和10年度までに **940名** 以上



令和6年度から秋入学を導入する生命科学科の授業の様子

研究

- **トップ研究者の招へい**や若手研究者の育成を通じて、世界水準の基礎研究力を強化
- 研究センター・リサーチコアの強化により、**世界的な研究拠点を形成**
- 外部資金の獲得や研究活動の活性化、博士後期課程学生への支援を充実

【主な評価指標】

- ✓ 被引用率トップ10%論文割合
⇒ **10%** 以上維持
- ✓ トップ研究者をコアとした体制
⇒ 6年間で **2件** 以上
- ✓ 科研費獲得金額
⇒ 前期平均獲得額比 **110%** 以上



都立大HPでSDGsに関する先端研究をPR

社会との価値共創

- 自治体との連携を強化することで**シンクタンクとしての機能を発揮**
- 社会人に向けた継続的な学びの支援を展開し、教育研究成果を社会に還元
- 修了後の継続的な教育・研究支援により、**在學生と修了生との連携を強化**

【主な評価指標】

- ✓ 自治体や企業との連携活動
⇒ 新規の連携事業を **毎年創出**
- ✓ AIITフォーラムや国内外機関とのイベント
⇒ 新規テーマのプログラムを **毎年実施**
- ✓ 修了生が大学で活動できる機会
⇒ **毎年3つ** 以上提供

【Web講演会】第16回 AIITフォーラム
（「しながわ学びの社」パートナーシップ講座 共同開催）
認知症予防DX（デジタルトランスフォーメーション）
—いつまでもどこでも認知症予防—



地域と連携したAIITフォーラムの開催

教育・研究

- PBL等特色ある教育システムの改善により、多様な人材が学べる教育を展開
- 地域や年代に捉われない**リカレント教育を促進する学修環境を整備**
- 産学公連携体制を構築し、産業振興に資する研究を推進するとともに、研究成果を社会に発信

【主な評価指標】

- ✓ リスキリング等の正課課程以外の教育プログラムを実施
- ✓ 学長等による企業訪問・渉外活動
⇒ **毎年3件** 以上
- ✓ 研究成果の社会への発信・還元
⇒ 令和10年度までに **常勤職員100%** が実施



ハイブリッド型授業(対面・リモート)の様子

東京都立産業技術高等専門学校

社会や産業界のニーズに応え都民や地域社会に貢献すべく、実践的かつ高度な技術者の育成を継続

社会との価値共創

- **ものづくり分野における知見を生かした講座**等を地域に提供することにより、社会課題の解決に貢献
- 持続可能な社会の実現に資する教育・研究活動を実施
- 卒業生・修了生や保護者が様々な支援を行いやすい環境を整え、学生支援に対する協力関係を強化

【主な評価指標】

- ✓ 自小中学生向けICT・IoT教育の講座
⇒ 6年間の参加者 **600名** 以上
- ✓ 再生可能なエネルギーを活用した実験実習科目のカリキュラムを採用
- ✓ 卒業生・修了生による学生向け特別講座
⇒ 品川・荒川キャンパスで **年1回** 以上開催



小学生向けプログラミング教室の様子

教育・研究

- **情報セキュリティや医工連携分野の教育を強化**することにより、産業振興等に貢献する技術者を育成
- 海外体験プログラムの充実により、学生の国際感覚を向上させ、海外で活躍できる技術者を育成
- 特別研究期間制度の利用を促進し、**ものづくりの発展に資する研究力を強化**

【主な評価指標】

- ✓ 医工連携プログラムの修了者
⇒ 令和10年度までに **延べ72名** 以上
- ✓ 海外体験プログラム参加者
⇒ 毎年度 **70名** 確保
- ✓ 特別研究期間制度の利用者
⇒ 年間 **4名**



海外体験プログラム参加者

法人運営

社会の要請が複雑に変化する中で、柔軟で実効性ある施策を展開できるよう、人的資源、財政基盤、施設など各学校の運営基盤を強化

業務運営

- 計画、予算、組織等について、戦略的な法人経営を展開
- 複雑化する行政ニーズを的確に把握し、**自治体との連携強化に向けた取組を充実**
- 性質の異なる3つの教育研究機関がある特性を最大限に活用するため、法人内連携を一層促進

【主な評価指標】

- ✓ 都との連携案件
⇒ 年間 **170件** 以上
- ✓ 法人の重要課題への対応
⇒ 毎年新たなテーマを設定

その他重要事項

- 気候変動やSDGsに対応する取組を通じて、**持続可能な社会の実現に貢献**

【主な評価指標】

- ✓ 東京都環境確保条例で定めるCO2排出量
⇒ 毎年着実に削減

カーボンニュートラル推進プラン
～気候変動を抑制した持続可能な社会を創出～



令和5年3月、カーボンニュートラル推進プランを公表